

2022年度新規調査事業成果報告会

－東南アジアにおけるCCS（CCUS）事業実施可能性調査－ プログラム

13:30-13:45 開会あいさつ

13:45-14:45 第一部：東南アジアにおけるCCS/CCUS事業の実施環境

1. 事業の背景・目的
2. CCS/CCUS事業に関する法的枠組みと関係機関
 - 2.1 インドネシア、マレーシア、ベトナム、タイの現況
 - 2.2 CO₂の国境を越えた輸送に関する法規制
 - 2.3 東南アジアのCCS/CCUS の推進・規制に係る政策・事業法の総括
3. CCS/CCUS事業に係る欧米諸国での支援制度（ノルウェー、カナダ、米国、英国）
4. 主なCO₂発生源
 - 4.1 インドネシア、マレーシア、ベトナム、タイの排出源
 - 4.2 排出源のまとめ
5. 結論

14:45-15:00 休憩

15:00-17:00 第二部：インドネシアにおけるCCS/CCUS事業化のためのケーススタディ

1. CO₂貯留対象となりうる枯渇油ガス田候補
 - 1.1 地質概要
 - 1.2 ガス田の貯留能力の定性的評価
 - 1.3 貯留能力の動的評価
2. CO₂排出源の評価及び圧入計画の概念
 - 2.1 CCSバリューチェーンの設備と技術的課題
 - 2.2 排出源別のCO₂回収コスト
 - 2.3 パイプラインケース
 - 2.4 海上輸送ケース
 - 2.5 CO₂輸送手段の選定

3. 既存井の圧入井への転用、休止井（廃坑井）のCO₂漏洩危険性評価に関する技術的課題の抽出とその解決策の検討
 - 3.1 ローカルレギュレーション及び米国・Class VIを適用した場合の坑井仕様及び坑井健全性確保のための方策と比較
 - 3.2 既存坑井の圧入井への転用に際した坑井健全性の評価
 - 3.3 非CO₂圧入候補井の評価まとめ
 4. 概算コスト
 - 4.1 圧入井への転用作業内容
 - 4.2 圧入井への転用作業費用概算
 - 4.3 Class VIを適用した場合の工程及び作業費用概算
 5. 結論
- 17:00-17:10 閉会挨拶